

競技上の注意

1 競技方法

- (1) 得点については、21点3ゲーム(20-20になった場合、2点差がつくか30点まで)とする。
- (2) 進行上、タイムテーブルとコート・時間が変わる場合があるため、場内放送に注意すること。
- (3) 個人戦はリーグ戦で行う。試合が連続する場合には適宜休憩を入れる。(10分程度)。

2 シャトル

- (1) シャトルは、本部より1個支給する。それ以降は各チームの持ち寄りとする。
- (2) 交換の際は、使用したシャトルを本部に持ってくる。(本部により近い線審が交換に来る。)
- (3) シャトルを渡されたら、試し打ちはなし。すぐに試合を開始する。
- (4) シャトルは日本バドミントン協会1種・2種検定合格水鳥球とし、スピード番号3番を使用する。

3 インターバル

- (1) 一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認める。また、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。11点でチェンジエンスを行う。その際に60秒を超えないインターバルを認める。
- (2) インターバル時のアドバイスは、コーチングシートに入っている者2名とする。但し、2コート以上で同一チームの選手が試合を行う場合は、監督、コーチはインターバルの時に限り、コートを離れてアドバイスに行くことができる。

4 サイド

- (1) コーチングシートは、監督とコーチ2名まで入ることができる
- (2) コーチングシートは、選手がチェンジエンスした際に交代する。(アドバイスはチェンジエンス後とする。)

5 ゲーム中のアドバイスについて

- (1) コート内の選手へのアドバイスは、コーチングシートから行う。
- (2) 試合の遅延行為にならないように行い、また、相手選手が萎縮するようなアドバイスであってはならない。
- (3) 換気で中断している時のコーチングは禁止する。

6 水分補給等

- (1) 競技中の汗拭き、水分の補給などについては、主審の許可を得て行い、プレーの中断にならないようにする。水分補給用容器は、ワンタッチ式水筒やスクイズボトル等を使用する。

7 審判

- (1) 個人戦の線審・得点掲示は、試合をしているクラブで、相互に行う。主審は参加選手にお願いすることもある。
- (2) 試合が終了したら、勝者が速やかに審判用紙を本部に持ってくる。

8 試合態度

- (1) プレーを故意に遅らせたり中断したりすることをしてはならない。(16条第6項)
- (2) 見苦しい服装、無礼な態度や言動、耳障りな掛け声や叫び声などもしてはならない(同条)。※これらの行為が度重なる場合は、警告の後、フォルトをとる。
- (3) 審判に対しての質問は認められるが、抗議はできない。
- (4) 入退場やあいさつ時、表彰式等は、上衣の裾は下衣の中に入れること。ただし、ゲーム中や公式練習中は出してもよい。
- (5) リストバンドやはちまきの使用は認めるが汗止めのアンダーラップなどは認めない。

9 コートに持ち込めるもの

- (1) コートサイドに持ち込めるもの

・ラケット ・シャトル ・スクイズボトル(ワンタッチ水筒可) ・タオル ・滑り止め
・スプレー ・バッグ

- (2) コーチングシートに持ち込めるもの

・氷嚢 ・濡れタオル ・うちわ(応援の道具としては不可)
・クーラーバッグまたはクーラーボックス(ソフトタイプ)
注) A4サイズぐらいのコンパクトなもので1つまでとする。

- (3) 使用できないもの

・モバイル通信機器(iPad、携帯電話等) ・大きなクーラーボックス

10 その他

- (1) 監督・コーチ・マネージャーがコーチングシートに座る場合、公認審判員規定に従い、コーチにふさわしい服装とする。
可：チームユニフォーム（チームTシャツは可）・（ワイ）シャツ・ポロシャツ・ブラウス・長ズボン
スカート・ウィンドブレーカー・長袖ジャージ・7分丈の長ズボン
不可：Tシャツ、ジーンズ、バミューダ、ショートパンツ、スリッパ、サンダル、靴下、素足
※Tシャツには、ロングTシャツも含まれる。
- (2) 大会使用ウェア（インナーウェアも含む）は、令和6年度（公財）日本バドミントン協会審査合格品、又は各学校の体操服とし、試合用ゼッケンを着用すること。着衣表示については、日本中体連バドミントン競技部着衣表示申し合わせ事項に準ずる。
- (3) フロアー内での飲食、フロアー外でのラケット等を使用した練習は禁止する。
- (4) 会場使用上のマナー向上にご協力ください。（上履きと下履きの区別、トイレ等の使用など）
- (5) ごみは、各クラブ（団体）で必ず持ち帰る。弁当の容器等業者回収を依頼する場合は、受け渡し場所を確実に打ち合わせておく。